

Lesson 1

端物を作成する

Ver.3 対応版

Lesson

1

端物を作成する



Lesson1 では基本的な端物の制作方法を学びます。

主にオブジェクトの作成や文字の入力、基本的な設定編集などを行い、MC-Smartの基本操作を習得しましょう。

Step1 ファイルの新規作成と画面設定

Step1 ではファイルの新規作成や基本操作を学びます。

Step2 オブジェクトの作成と画像配置

Step2 では画像、図形などのオブジェクトの作成方法を学びます。



Step3 テキストボックスの作成

Step3 ではテキストボックスの作成方法や文字組の設定を学びます。また、ドロップシャドウや透明効果の設定についても学びます。

Step4 表組の作成

Step4 では簡単な表組の作成方法を学びます。




Step1 ファイルの新規作成と画面設定

ファイルの作成と画面操作を学びましょう

1 MC-Smart の起動とファイルの新規作成

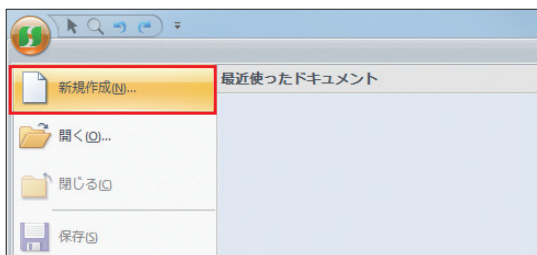
1 デスクトップの MC-Smart アイコンをダブルクリックします。

【補足】

- ・ Windows10 をご利用の方は【 スタート】→【すべてのアプリ】→【MORISAWA】→【MC-Smart (バージョン)】からでも起動できます。
- ・ Windows8.1 をご利用の方は【 スタート】→【アプリ】→【MORISAWA】→【MC-Smart (バージョン)】からでも起動できます。
- ・ Windows7 をご利用の方は【 スタート】→【すべてのプログラム】→【MORISAWA】→【MDS-Smart (バージョン)】→【MC-Smart (バージョン)】からでも起動できます。



2  をクリックし、【新規作成】をクリックします。



3 下図のように設定し、【OK】をクリックします。



ページサイズ

用紙サイズ はがき

方向 縦置き

ページ設定

見開き なし

組方向 横組

版面指定 マージン

マージン

天/地/左/右 すべて 0mm

文字

書体 A-OTF じゅん Pro 101

サイズ 9Q

行間 行送り 18Q

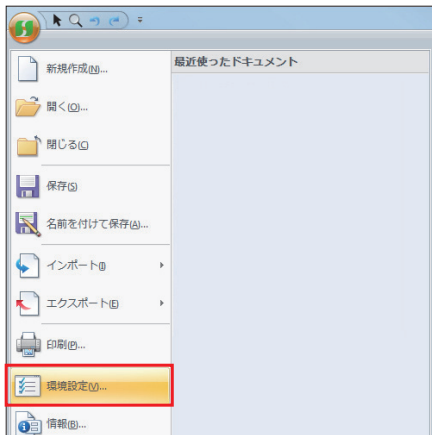
段組

段数 1

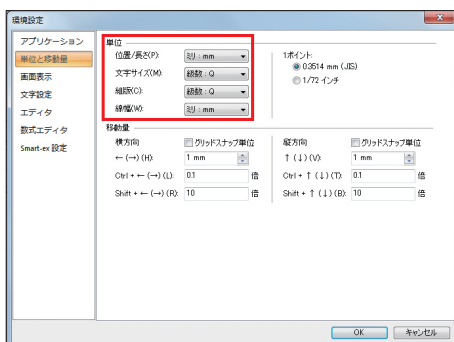
2 画面表示の設定を行う

環境設定を行う

- 1  をクリックし【環境設定】をクリックします。



- 2 【環境設定】ダイアログで【単位と移動量】をクリックし、下図のように設定し【OK】をクリックします。



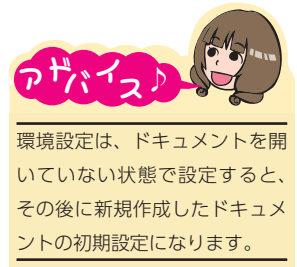
単位

位置/長さ ミリ：mm



文字サイズ 級数：Q

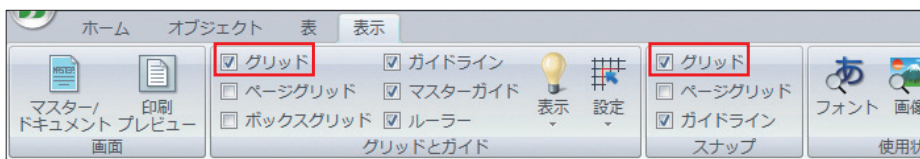
組版 級数：Q

線幅 ミリ：mm

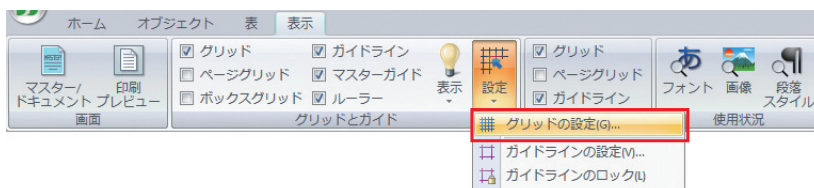


グリッドの設定を行う

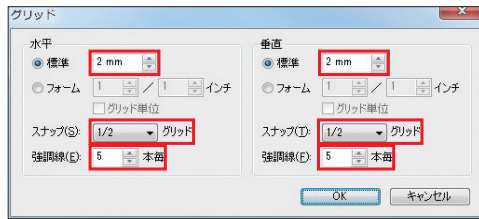
- 3 【表示】タブ→【グリッドとガイド】→【グリッド】の  を ☒ にしてグリッドを表示し、【スナップ】→【グリッド】の  を ☒ にして、オブジェクト類がグリッドに吸着するように設定します。



- 4 【表示】タブ→【グリッドとガイド】→【設定】→【グリッドの設定】をクリックします。



5 下図のように設定し、【OK】をクリックします。



水平

標準 2mm

スナップ 1/2 (グリッド)

強調線 5 (本毎)

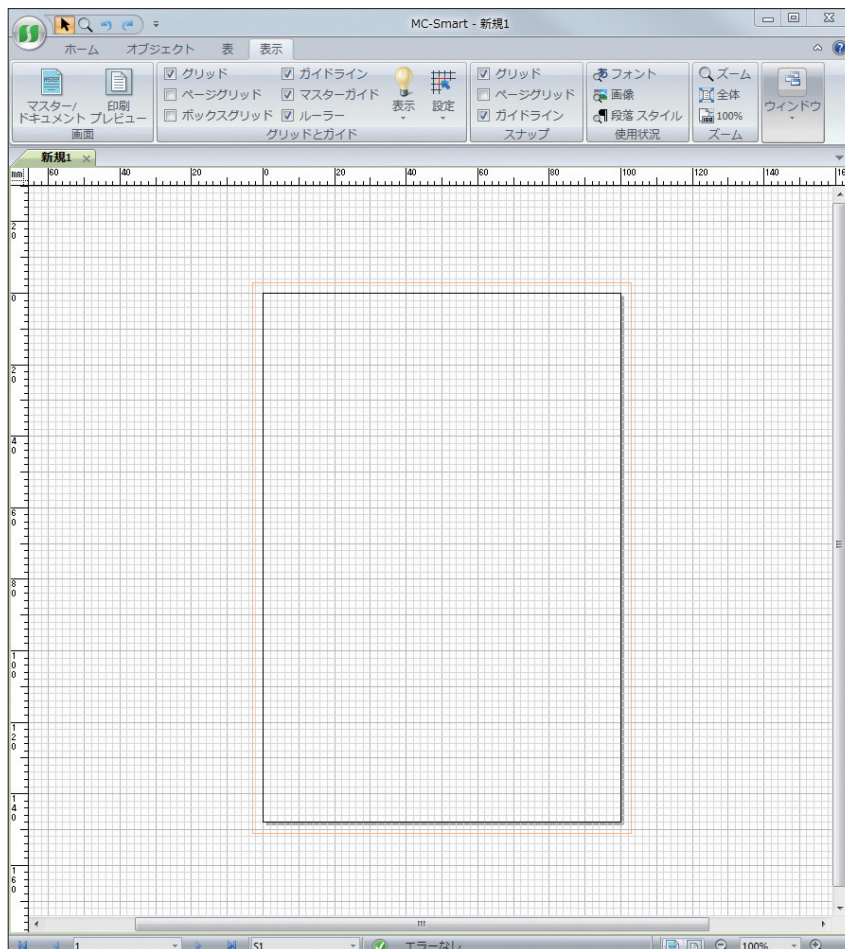
垂直

標準 2mm

スナップ 1/2 (グリッド)

強調線 5 (本毎)

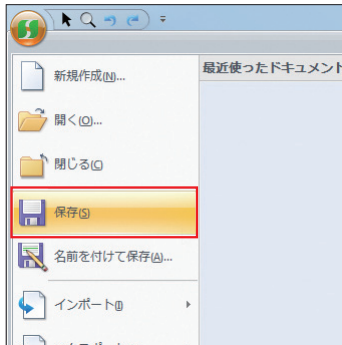
6 グリッドが表示され、1mm 毎にオブジェクトが吸着するようになりました。



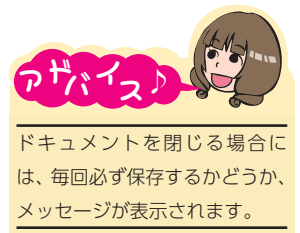
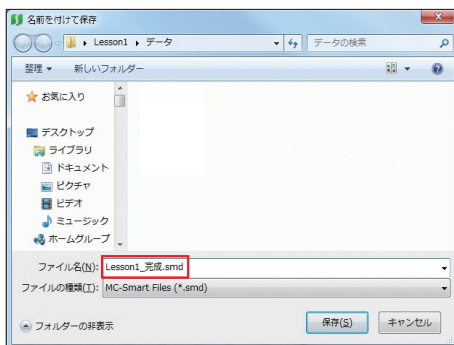
画面表示を小さくした場合には、
モニタ解像度によって、グリッ
ド数は少なく表示されます。

3 ファイルの保存

- 1  をクリックし【保存】をクリックします。



- 2 保存場所を指定し、ファイル名を任意に設定して、【保存】をクリックします。



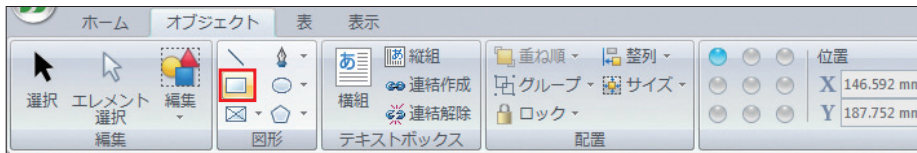
Step2 オブジェクトの作成と画像配置

基本となる長方形のオブジェクトを作成し、背景部分を作成します。

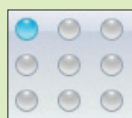
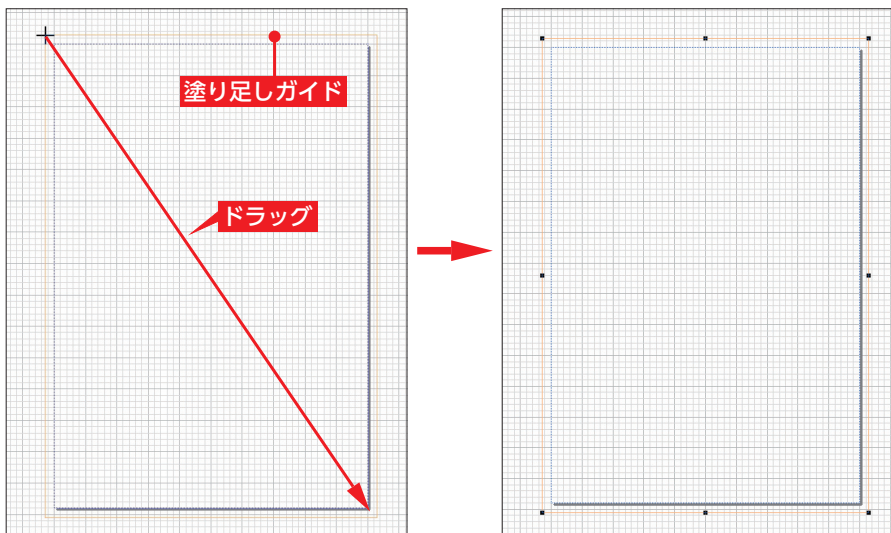
1 オブジェクトの作成とカラー設定

長方形オブジェクトの作成

1 【オブジェクト】タブ→【図形】の  をクリックします。



2 塗り足しのガイドに沿ってドラッグし、長方形オブジェクトを作成し、【オブジェクト】タブ→【位置・サイズ】で、下図のように設定します。



位置		サイズ	
X	-3mm	W	106mm
Y	-3mm	H	154mm



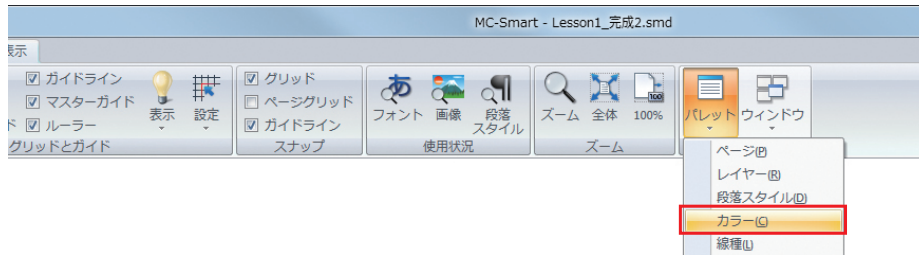
マウスカーソルが十字の状態
オブジェクトを作成する際は、
クリックすると数値指定、ド
ラッグすると任意の大きさで作
成できます。



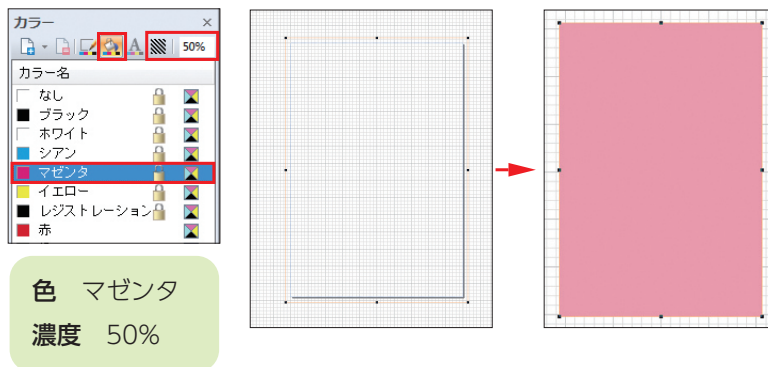
ラジオボタンはオ
ブジェクトの位置
やサイズの設定を
変更するときの、基準点です。

オブジェクトのカラー設定

- 3 【表示】タブ→【ウィンドウ】→【パレット】をクリックし、リストから【カラー】を選択し、【カラー】パレットを表示します。



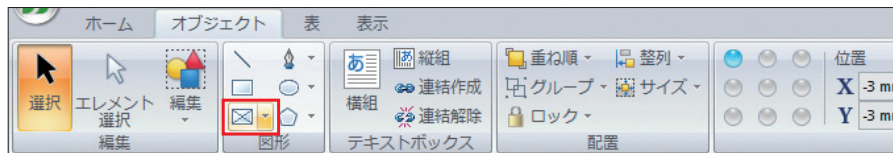
- 4 【カラー】パレットで  をクリックし、下図のように設定します。



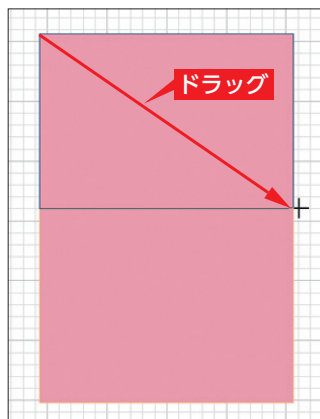
2 画像の配置

画像用オブジェクトの作成

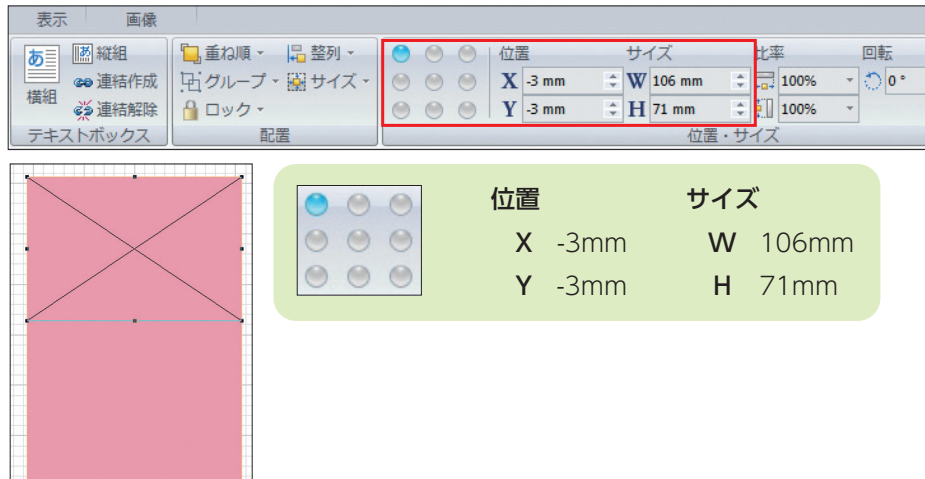
- 1 【オブジェクト】タブ→【図形】の  をクリックします。



- 2 下図のように、先に作成したボックスの左上から、幅を同じに、高さは任意にドラッグします。

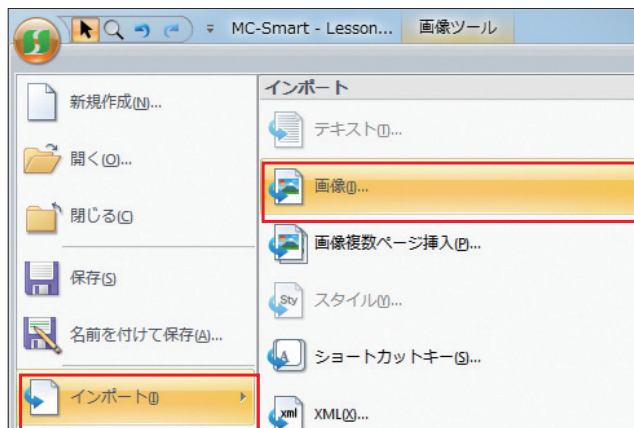


3 【オブジェクト】 タブ→【位置・サイズ】 を下図のように設定します。

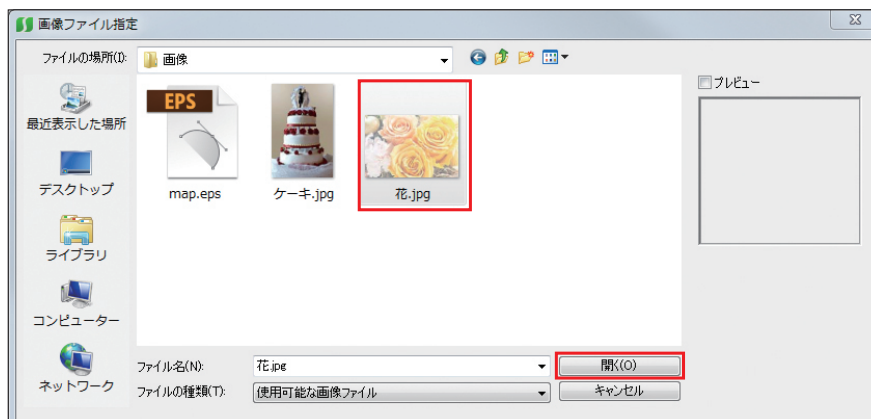


画像の配置

4 画像ボックスを選択した状態で をクリックし、【インポート】→【画像】をクリックします。



5 【画像ファイル指定】 ダイアログが表示されるので、『花.jpg』を選択し、【開く】をクリックします。



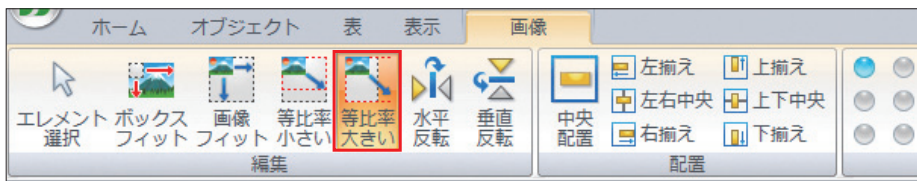
画像ボックスに画像が配置されます。



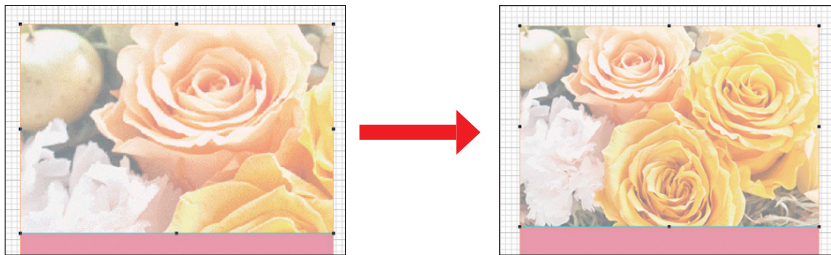
3 画像サイズの変更

画像の枠フィット

- 1 【画像】タブ→【編集】→【等比率大きい】をクリックします。

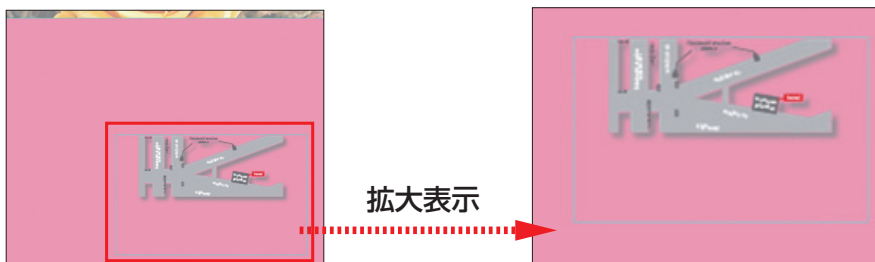


画像が枠にフィットするサイズに変更されました。

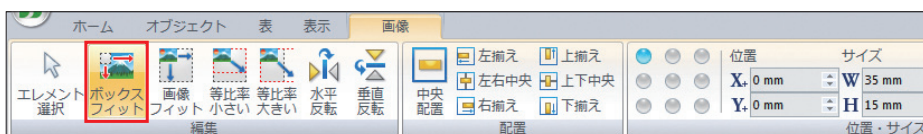



枠の大きさを画像にフィットさせる

- 2 地図の部分となる画像ボックスを任意の大きさで作成し、画像『map.eps』をインポートして配置します。



- 3 【画像】タブ→【編集】→【ボックスフィット】をクリックします。



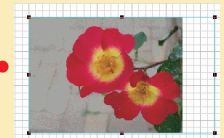
【画像】タブは、画像編集状態になっている時だけ表示されます。表示されていない場合には、選択ツール  で画像上をダブルクリックしましょう。



【等比率大きい】、【等比率小さい】を選ぶと、画像の縦／横の比率を変えずに画像が拡大・縮小し、画像ボックスにフィットします。



元の状態



等比率小さい

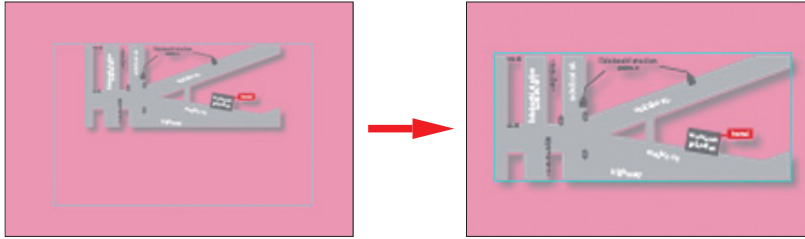


等比率大きい

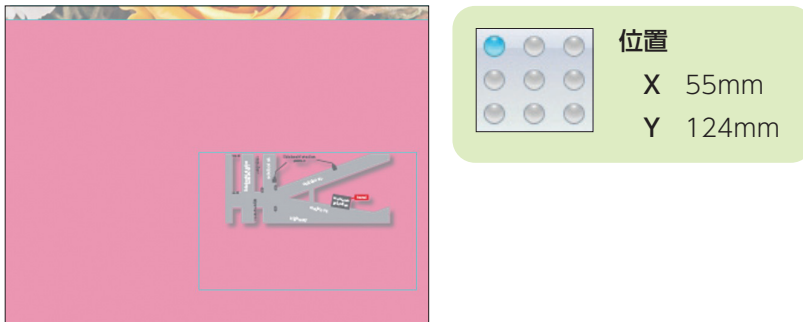


【等比率大きい】や【等比率小さい】などで画像のサイズを変更した後に【ボックスフィット】を行うと、変更した画像の大きさにボックスがフィットします。

- 4 枠の大きさが地図画像の大きさにフィットしました。




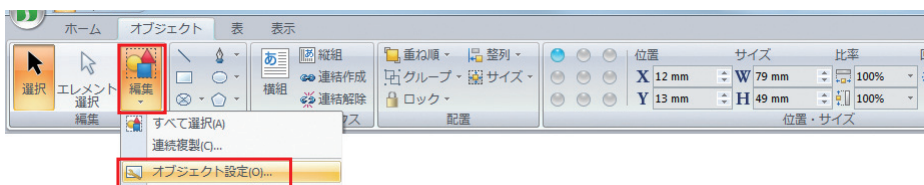
- 5 【オブジェクト】タブ→【位置・サイズ】で地図画像の位置を下図のように設定します。



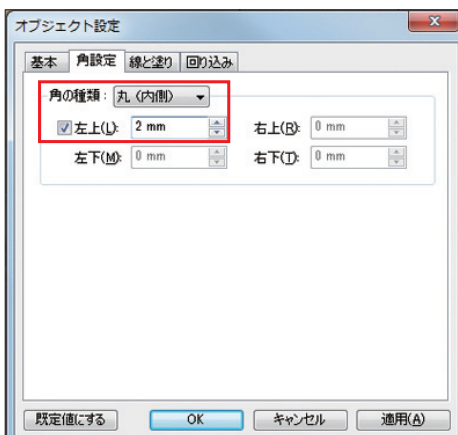
4 オブジェクトを整える

長方形のオブジェクトに角丸を設定する。

- 1 【オブジェクト】タブ→【図形】の  をクリックし、画面上の適当な位置、大きさにドラッグして長方形オブジェクトを作成します。
- 2 【オブジェクト】タブ→【編集】→【編集】をクリックし、リストから【オブジェクト設定】を選択します。



- 3 【角設定】タブをクリックし、下図の設定を行い、【OK】をクリックします。



角の設定 丸 (内側)
☒ 左上 2mm



画像上で右クリックし、【表示画質】→【高画質】を選べると画像を高画質で表示することができます。ドキュメントの再起動後は自動的に【通常】に戻ります。

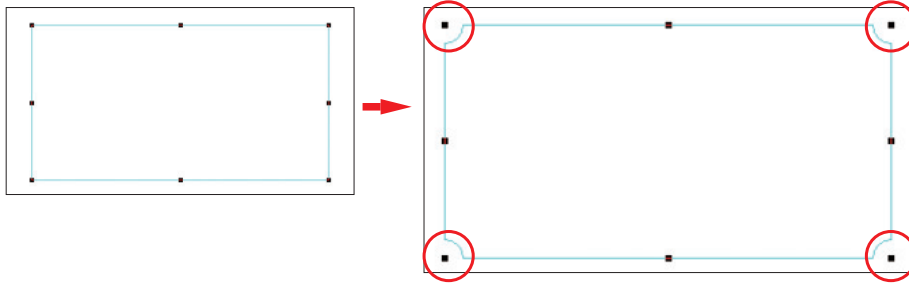


画像ファイルはドラッグ＆ドロップでMC-Smartに取り込むことが可能です。
また、複数の画像ファイルを一度に取り込むことも可能です。この時、取り込まれた画像の比率は100%の大きさになります。



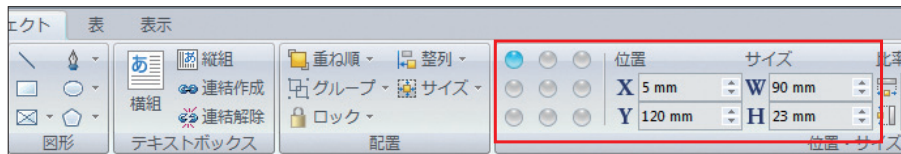
【☒ 左上】のチェックボックスをオフ ☐ にすると、四つの角の数値を別々に設定することができます。

オブジェクトに角丸が適用されました。





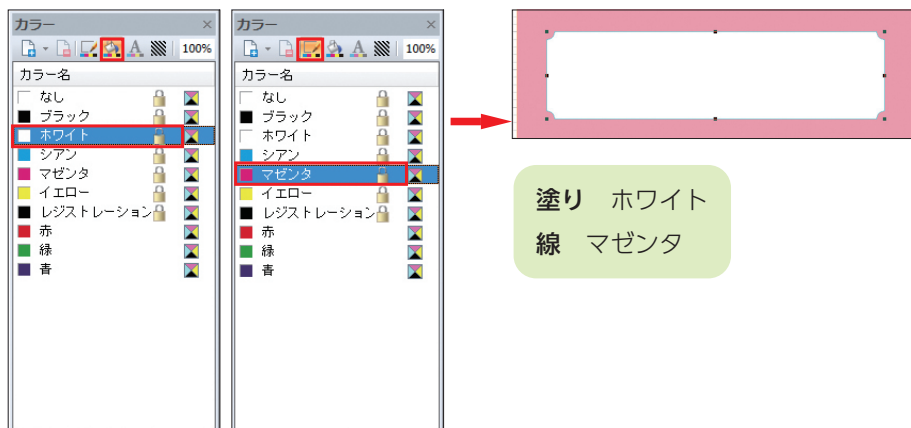
オブジェクトに線を設定する

- 4 【オブジェクト】タブ→【位置・サイズ】を下図のように設定します。



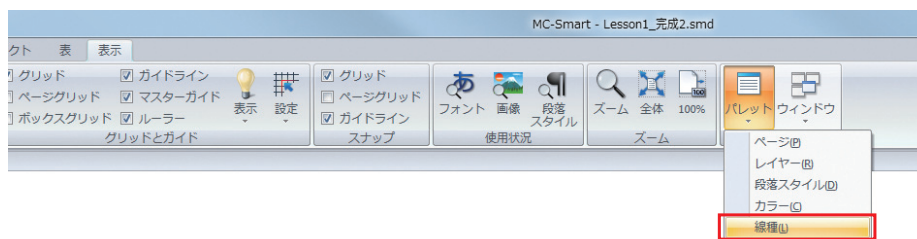
位置		サイズ	
X	5mm	W	90mm
Y	120mm	H	23mm

- 5 【カラー】パレットで  をクリックし、『ホワイト』をクリックします。続けて、 をクリックし、『マゼンタ』をクリックします。

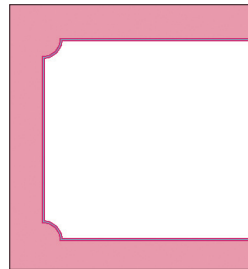
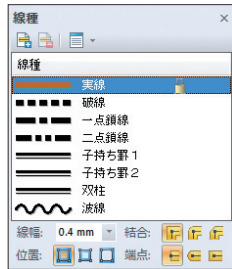


塗り ホワイト
線 マゼンタ

- 6 【表示】タブ→【ウィンドウ】→【パレット】をクリックし、リストから【線種】を選択し、【線種】パレットを表示します。



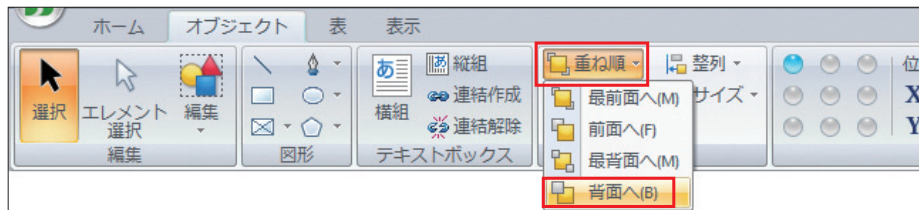
7 【線種】パレットで【線幅】を下図のように設定します。



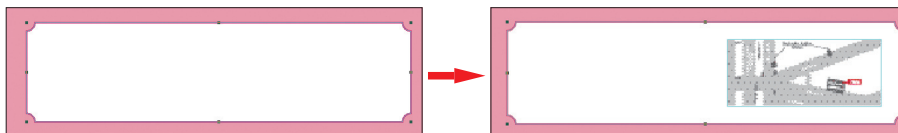
線幅 0.4mm

オブジェクトの前後位置を変更する

8 【オブジェクト】タブ→【配置】→【重ね順】をクリックし、リストから【背面へ】を選択します。

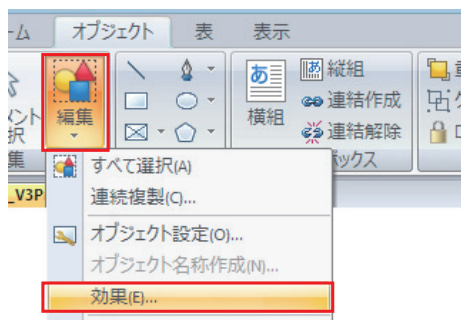


9 角丸のオブジェクトが背面に移動し、地図が前面に表示されました。



オブジェクトにドロップシャドウを設定する

10 【オブジェクト】タブ→【編集】→【編集】→【効果】をクリックし、下図のように設定します。




オブジェクトにドロップシャドウが適用されます。



ドロップシャドウ

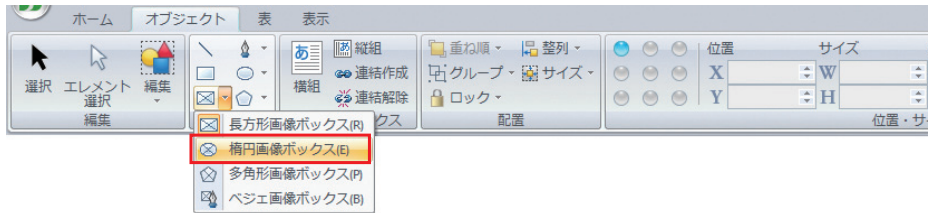
☒ 線 ☒ 塗り
不透明度 60%
角度 135°
距離 2mm
ぼかし 1.5mm



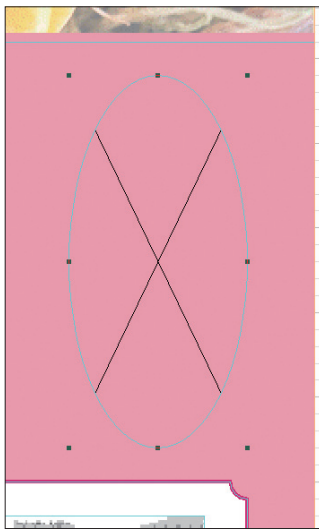
画面右下のステータスバーの  をクリックし、印刷表示にすると、線幅などを確認しやすくなります。

5 楕円オブジェクトの完成

- 1 【オブジェクト】タブ→【図形】の  ボタンの  をクリックし、リストから【楕円画像ボックス】を選択します。




- 2 画面上の任意の位置でドラッグし、画像ボックスを作成します。ボックスの位置やサイズを下図のように設定します。

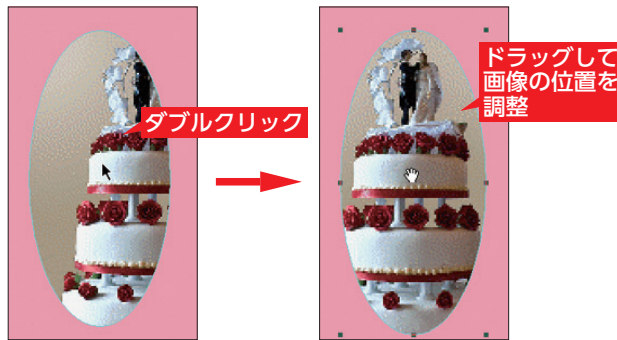


	位置		サイズ	
	X	Y	W	H
	74mm	72mm	21mm	44mm

- 3 画像『ケーキ.jpg』をインポートして配置します。



- 4 画像上でダブルクリックします。画像ボックス内では、マウスカーソルが  に変化するので、ドラッグして画像の位置を調整します。




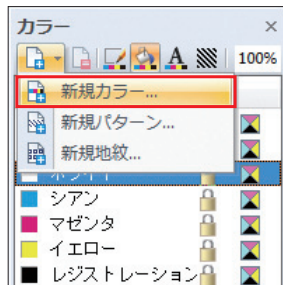
アザバイス

【画像】タブ→【配置】でアイコンをクリックすると、ボックスに対する画像の位置の揃えをワンクリックで変更することができます。

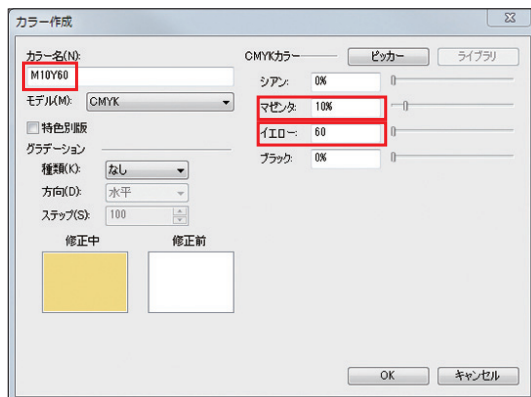
中央配置	左揃え	上揃え
	左右中央	上下中央
	右揃え	下揃え
配置		

6 カラーの追加

- 1 【カラー】パレットの  をクリックし、リストから【新規カラー】を選択します。

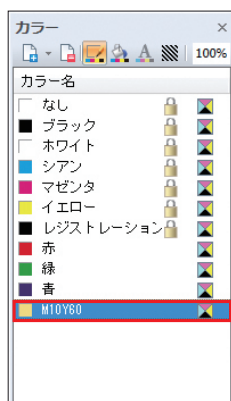


- 2 【カラー作成】ダイアログが表示されますので、下図のように設定し、【OK】をクリックします。




カラー名 M10Y60
CMYK カラー
マゼンタ 10%
イエロー 60%

- 3 作成したカラーを線に適用し、下図のように線幅を設定します。



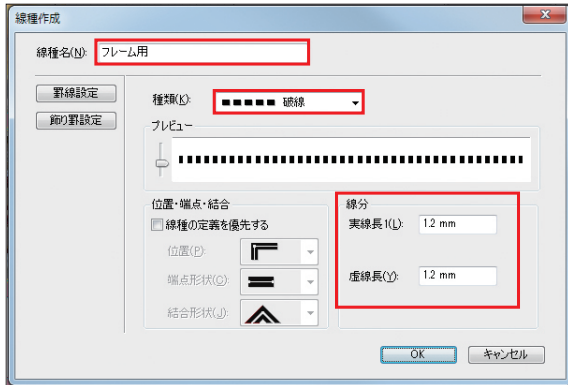
線幅 1.2mm

7 線種の作成

- 1 【線種】パレットで、 をクリックします。



- 2 【線種作成】ダイアログが表示されますので、下図のように設定し、【OK】をクリックします。



線種名 フレーム用

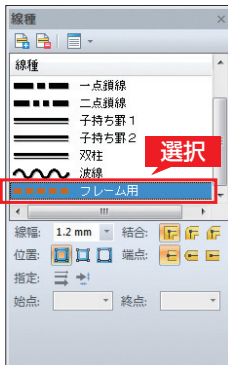
種類 破線

線分

実線長 1.2mm

虚線長 1.2mm

- 3 【線種】パレットで、作成した線種名を選択し、適用します。



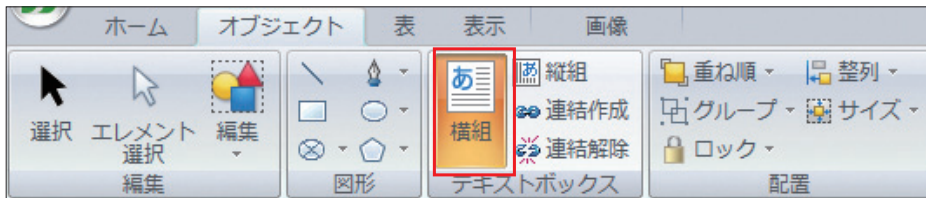
Step3 テキストボックスの作成

文字入力用のボックスを作成し、テキスト部分を作成しましょう。

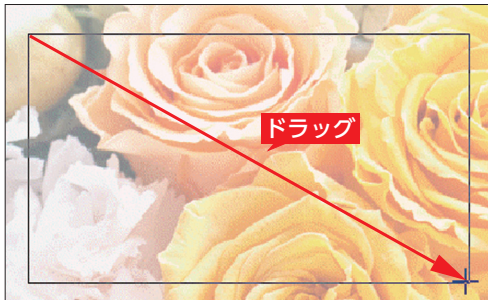
1 タイトルを作る

テキストボックスを作る

- 1 【オブジェクト】タブ→【テキストボックス】→【横組】をクリックします。



- 2 下図のように画面上でマウスをドラッグし、任意のサイズのテキストボックスを作成します。

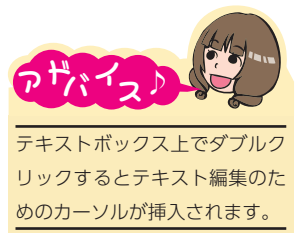
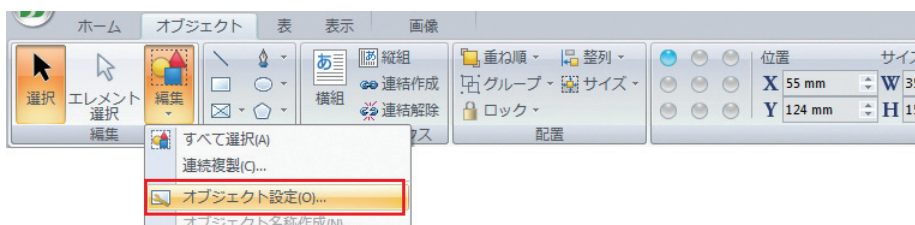


テキストを編集する

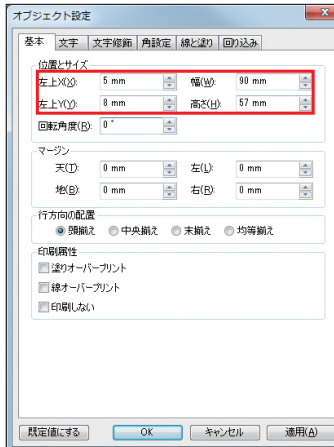
- 3 タイトルのテキストを入力します。キーボードから『Wedding』『Party』『Invitation!』と入力し、単語間は改行します。



- 4 テキストボックスを選択した状態で、【オブジェクト】タブ→【編集】→【編集】をクリックし、リストから【オブジェクト設定】を選択します。



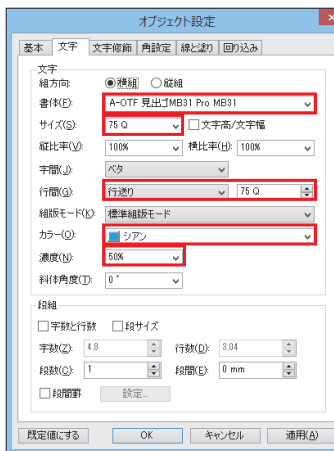
5 【オブジェクト設定】ダイアログを下図のように設定します。



【基本】タブ

位置とサイズ

左上X 5mm
 左上Y 8mm
 幅 90mm
 高さ 57mm



【文字】タブ

文字

書体 A-OTF 見出ゴ MB31 Pro MB31
 サイズ 75Q
 行送り 75Q
 カラー シアン
 濃度 50%




【文字修飾】タブ

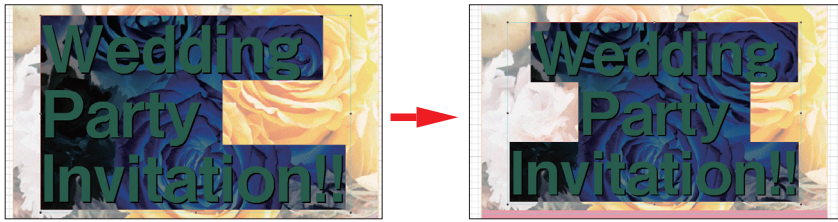
☒ 影文字

種類 影
 カラー ホワイト
 距離 0.5mm
 角度 -45°

タイトルのテキストに書式が適用されます。

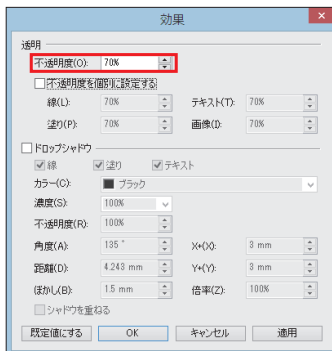
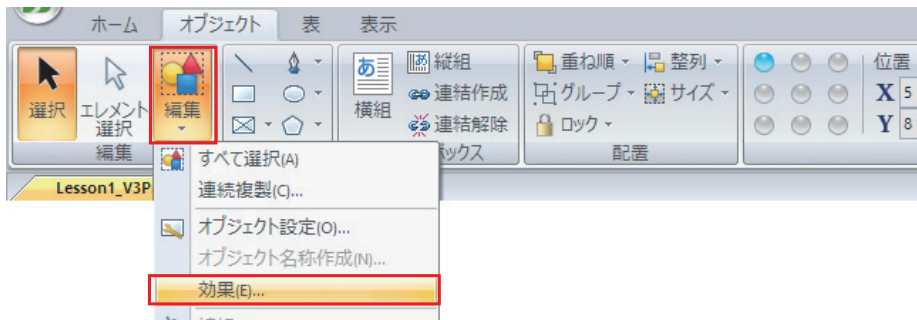


- 6 行揃えを変更します。テキストをドラッグして選択し、【ホーム】タブ→【行】の  をクリックします。



オブジェクトに透明効果を設定する

- 7 【オブジェクト】タブ→【編集】→【編集】→【効果】をクリックし、下図のように設定します。



【透明】タブ
不透明度 70%

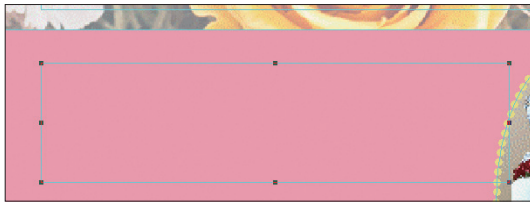
タイトルのテキストに透明効果が適用されます。



2 案内文を作る

テキストボックスを作る

- 1 タイトルと同様に、下図のように横組み用のテキストボックスを作成します。



位置

X 5mm


Y 73mm

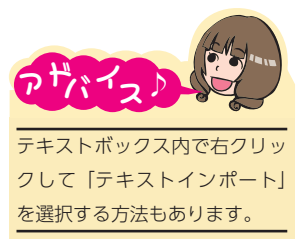
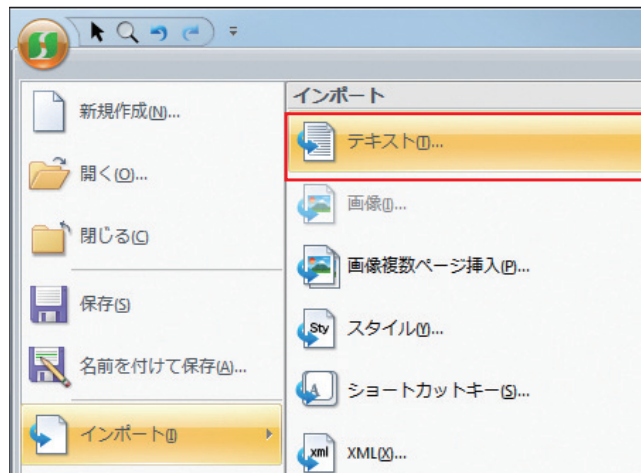
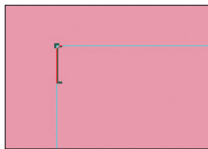
サイズ

W 71mm

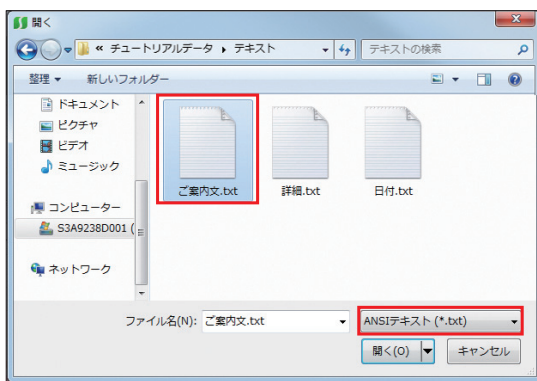
H 18mm

テキストを流し込む

- 2 カーソルが点滅した状態で、 をクリックし、【インポート】→【テキスト】をクリックします。



- 3 【開く】ダイアログで、ファイル形式に『ANSI テキスト(*.txt)』を選択後、『Lesson1』の『テキスト』フォルダにある『ご案内文.txt』を選択し、【開く】をクリックします。



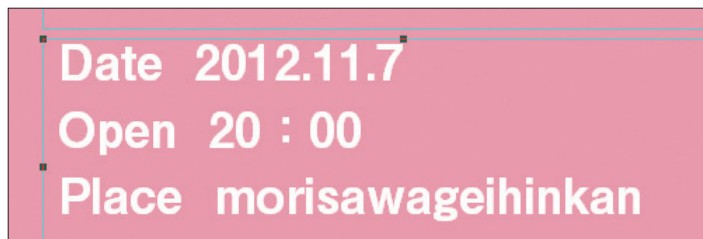
4 文章がテキストボックス内に流し込まれます。

森沢太郎さんと森澤花子さんが11月7日に結婚式を挙げられます。
つきましてはささやかですがお二人を祝福するパーティを開きたい
と思います。御多忙中かと思われませんが、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

3 開催日時の部分を作る

テキストボックスの作成と文字列の編集

1 テキストボックスを作成し、テキストを読み込み、下図のように設定します。



種類 横組用テキストボックス

テキストインポート 日付.txt

オブジェクト設定

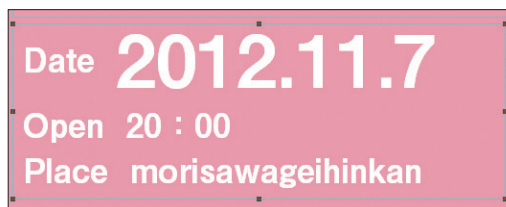
【基本】タブ

位置	サイズ
X 5mm	W 68mm
Y 92mm	H 24mm

【文字】タブ

フォント A-OTF 見出ゴMB31 Pro MB31
文字サイズ 18Q
行間 7Q
文字のカラー ホワイト

2 『2012.11.7』の書式を下図のように設定します。



文字サイズ

『2012.11.7』 40Q



テキストボックスにカーソルをおき、ダブルクリックすると1行選択、トリプルクリックすると1段落を選択できます。行や段落ごとに違う書式設定を行う場合などに便利です。



行送りと行間はいずれも行のアキを設定するためのものですが、下図のような違いがあります。

また、【ホーム】タブ→【行】では行送り と行間 はボタンをクリックすることで、どちらで設定するのかを切り替えることができます。

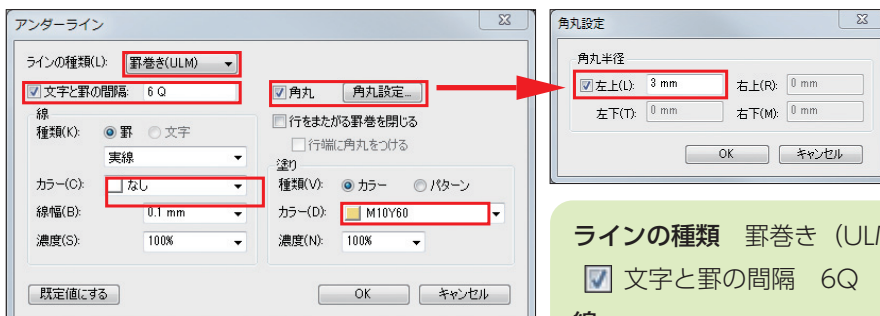


テキストにアミかけを設定する

- 3 『Date』を前後の半角スペースも含めてドラッグして選択し、【ホーム】タブ→【文字】→【アンダーライン】をクリックします。



- 4 【アンダーライン】ダイアログで下図のように設定します。



ラインの種類 野巻き (ULM)

☒ 文字と野の間隔 6Q

線

カラー なし

塗り

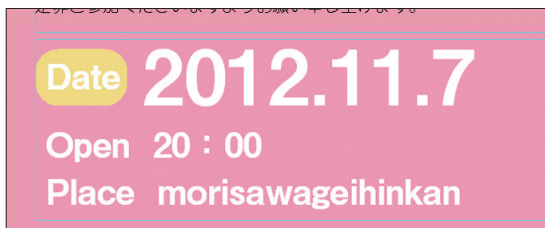
カラー M10Y60


☒ 角丸

角丸設定

☒ 左上 3mm

テキストにアミかけが適用されます。

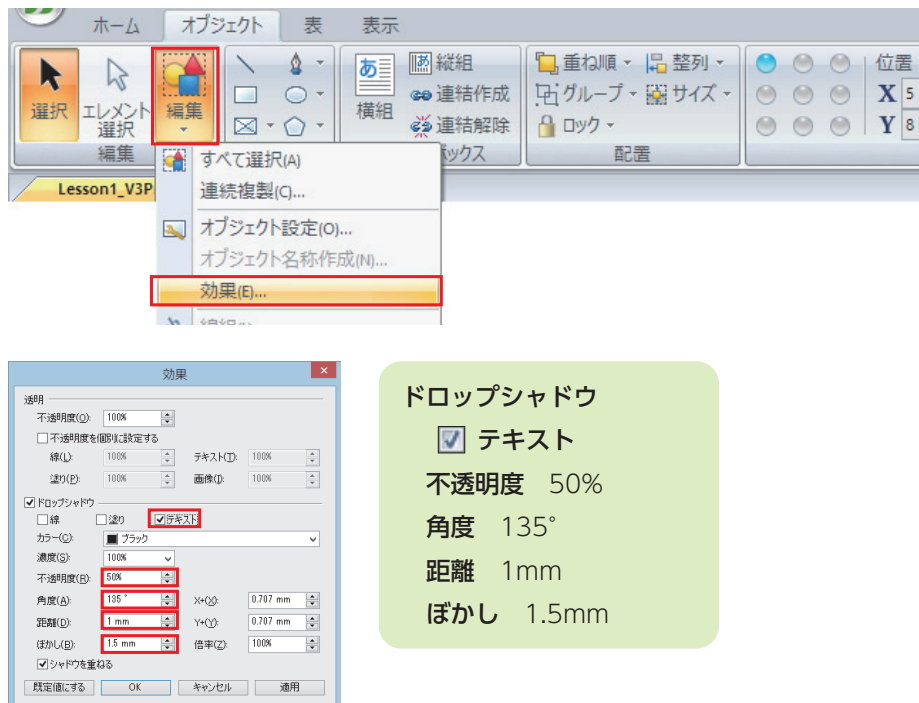


- 5 『Open』『Place』の文字色を変更します。テキストをドラッグして選択し、【カラー】パレットで  をクリックし、カラーを下図のように設定します。



テキストにドロップシャドウを設定する。

- 6 【オブジェクト】タブ→【編集】→【編集】→【効果】をクリックし、下図のように設定します。



テキストにドロップシャドウが適用されます。



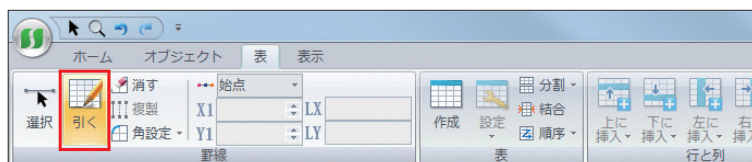
Step4 表組の作成

ツールを使って表組を作成し、表内に実施要綱を記載します。このレッスンで作成するのは簡単な表組ですので、より複雑な表組の作成についてはLesson3をご覧ください。

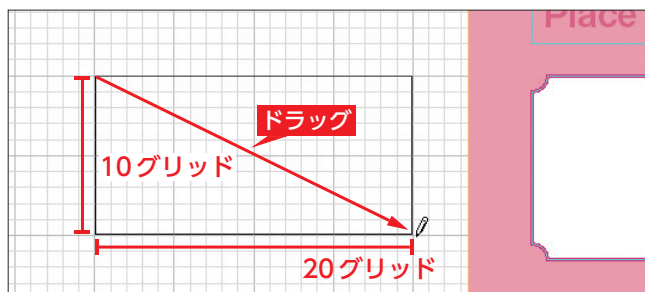
1 実施要綱を作成する

外枠の作成

- 1 【表】タブ→【罫線】→【引く】をクリックします。

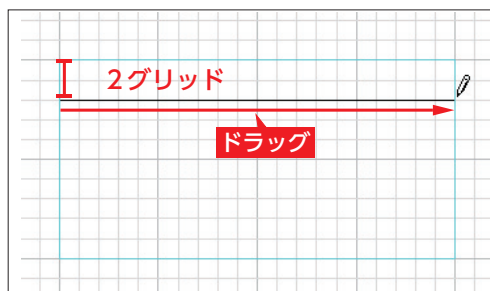


- 2 下図のように仕上りの外側の余白をドラッグし、表の外枠を作成します。



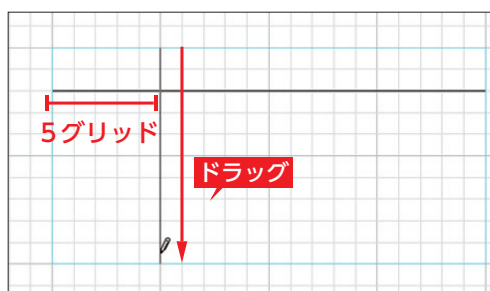
縦 10グリッド
横 20グリッド

- 3 横罫線を作成します。マウスカースルで下図のように水平方向にドラッグし、罫線を引きます。



位置 上から2グリッド

- 4 同様に下図のように縦罫線を引きます。

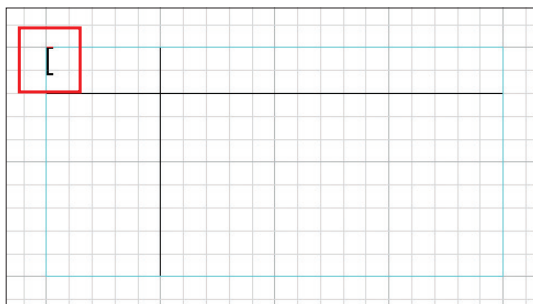



位置 左から5グリッド

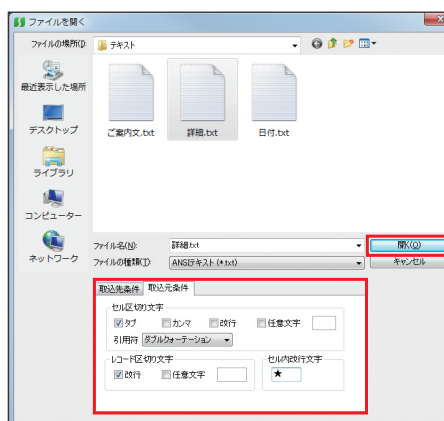
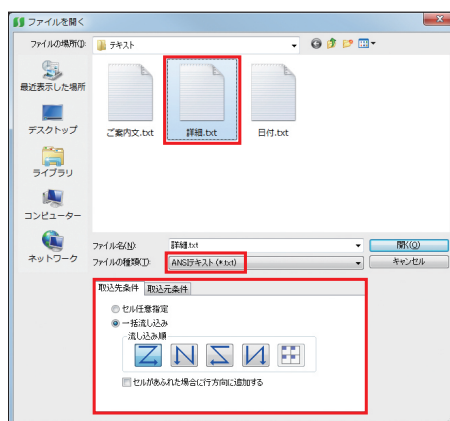
2 表にテキストを流し込む

表にテキストファイルを読み込む

- 1 表の左上のセルをダブルクリックし、カーソルが点滅している状態にします。




- 2  をクリックし、【インポート】→【テキスト】をクリックします。【ファイルを開く】ダイアログで、ファイル形式に『ANSIテキスト (*.txt)』を選択後、『Lesson1』の『テキスト』フォルダにある『詳細.txt』を選択し、【取込先条件】タブ、【取込元条件】タブがそれぞれ下図のようになっていることを確認した後、【開く】をクリックしてテキストファイルを読み込みます。



【取込先条件】タブ

☒ 一括流し込み

流し込み方向 

【取込元条件】タブ

セル区切り文字 ☒ タブ

レコード区切り文字 ☒ 改行

セル内改行文字 ★

表にテキストが読み込まれました。

連絡先	吉田 xxx@mcmail.co.jp
交通	・JR 飯田橋駅東口より徒歩 5 分
	・地下鉄東西線飯田橋駅 B1 より徒歩 5 分
	※車でのご来場はご遠慮ください。



タブ切りテキスト (.txt) やカンマ区切りテキスト (.csv) のファイルを表に読み込むことができます。



【取込先条件】タブで流し込み方向を指定すると、各セルにテキストが流し込まれる順番が表示されます。

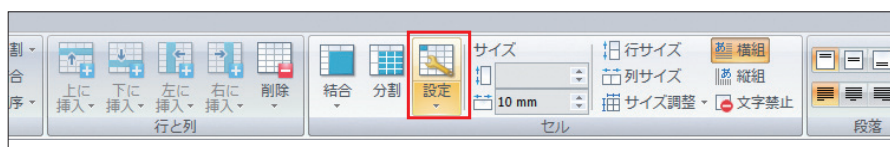
001	002
003	004

3 テキストに書式を設定する

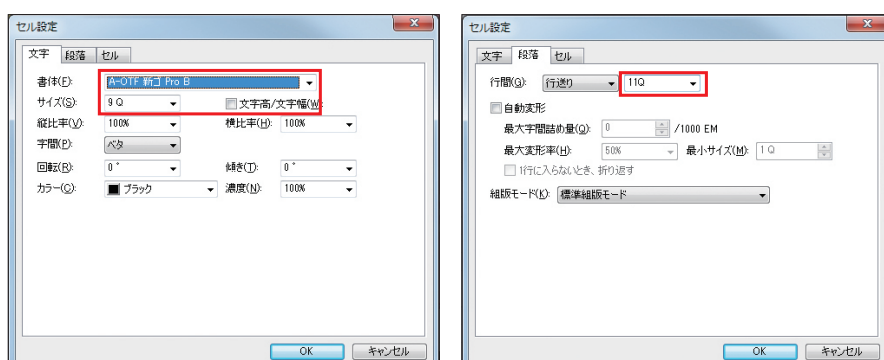
- 1 左の列のテキストの書式を設定します。表内でカーソルが点滅した状態で左の列の上部にマウスカーソルを近づけると、カーソルの形が▼に変わるので、クリックして表の左の列を選択します。



- 2 【表】タブ→【セル】→【設定】をクリックします。



- 3 【セル設定】ダイアログの【文字】タブを下図のように設定します。【OK】をクリックすると書式が設定されます。



【文字】タブ

書体 A-OTF 新ゴ Pro B

文字サイズ 9Q

【段落】タブ

行送り 11Q

- 4 同様に、右の列の書式を下図のように設定します。

連絡先	吉田 xxx@mcmail.co.jp
交通	・JR 飯田橋駅東口より徒歩 5 分 ・地下鉄東西線飯田橋駅 B1 より徒歩 5 分 ※車でのご来場はご遠慮ください。

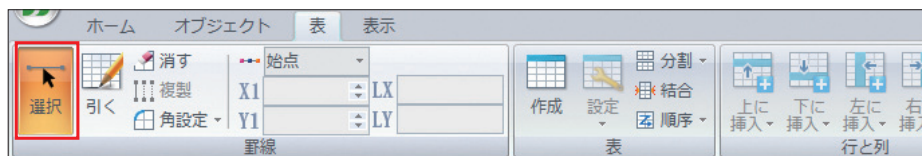
書体 A-OTF 新ゴ Pro R

文字サイズ 9Q

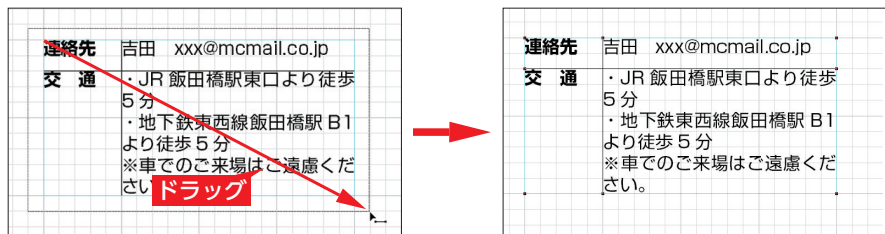
行送り 11Q

4 表の体裁を整える

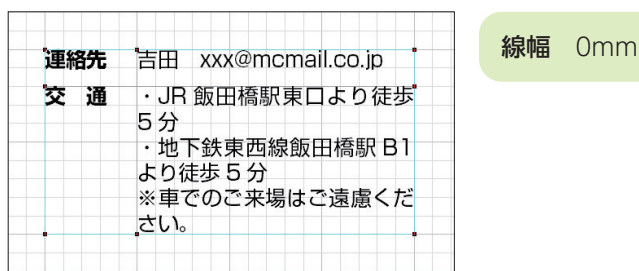
- 1 罫線の線幅を 0mm に設定します。【表】タブ→【罫線】→【選択】をクリックします。



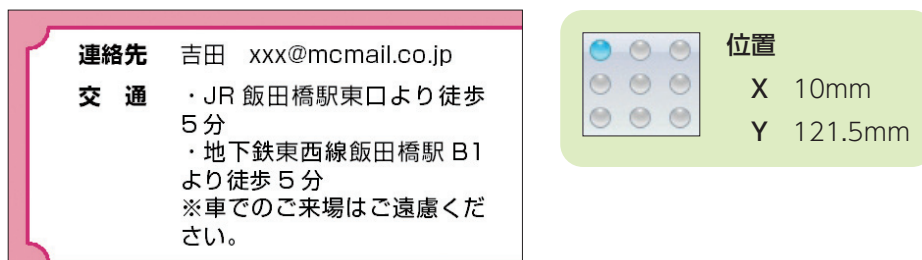
- 2 ドラッグすると表の罫線が選択されます。



- 3 線幅を下図のように設定します。



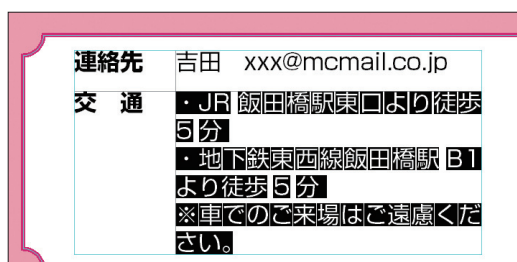
- 4 表の位置を下図のように設定します。



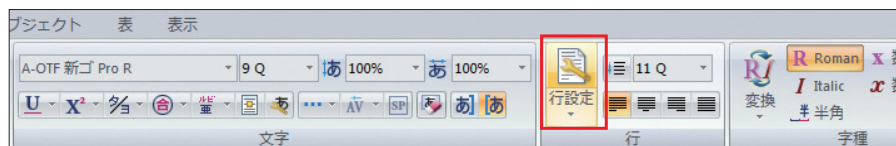
5 箇条書き部分の体裁を整える

テキストにインデントを設定する

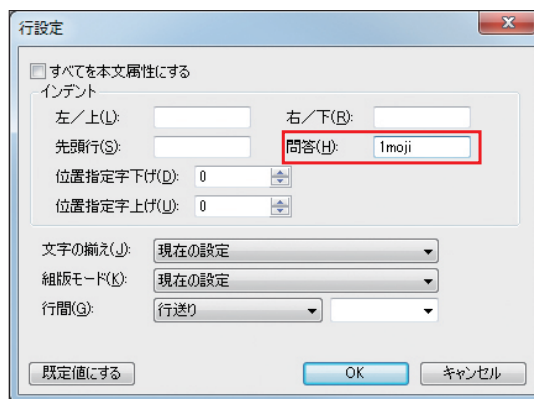
- 1 表の右の列の 2 行目のテキストをドラッグして選択します。



2 【ホーム】タブ→【行】→【行設定】をクリックします。

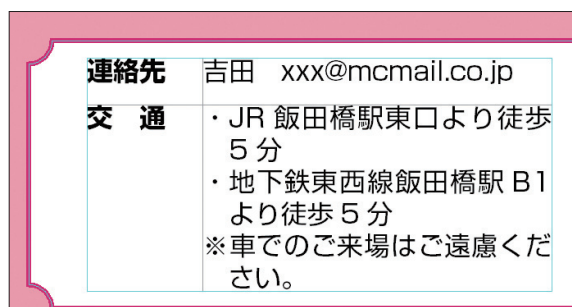


3 【行設定】ダイアログで下図のように設定し、【OK】をクリックします。



インデント
回答 1moji

インデントが設定されます。



インデントなどでアキを文字数で設定したい場合には、下記の2つの単位が便利です。

- 【ji】 マスター設定の文字サイズで字数指定します
- 【moji】 現在適用されている文字サイズで字数指定します

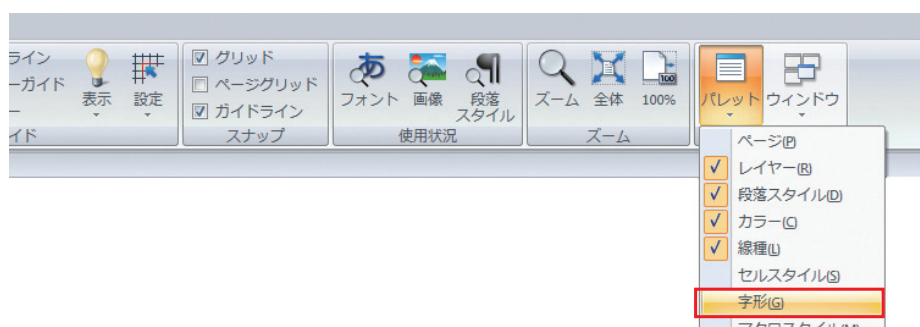
見出しなどで文字サイズを本文文字サイズと異なる設定にしている場合、本文文字サイズで字数指定するなら ji、見出し文字サイズで字数指定するなら moji を使用します。
その他の相対単位として、行間を設定する gyo があります。

- 【gyo】 マスター設定の改行量で行数指定します

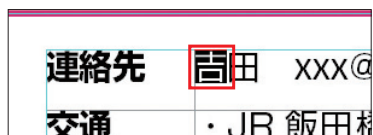
6 外字を入力する

【字形】パレットから異体字を入力する

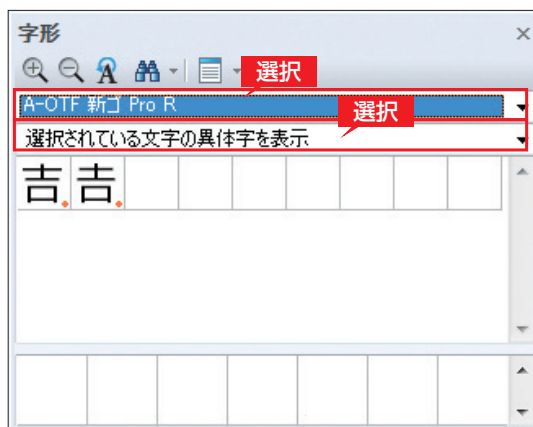
1 【表示】タブ→【ウィンドウ】→【パレット】をクリックし、リストから【字形】を選択し、【字形】パレットを表示します。



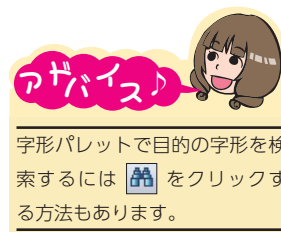
- 2 『吉』の字をドラッグして選択します。



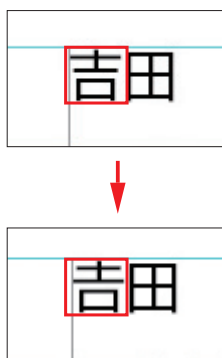
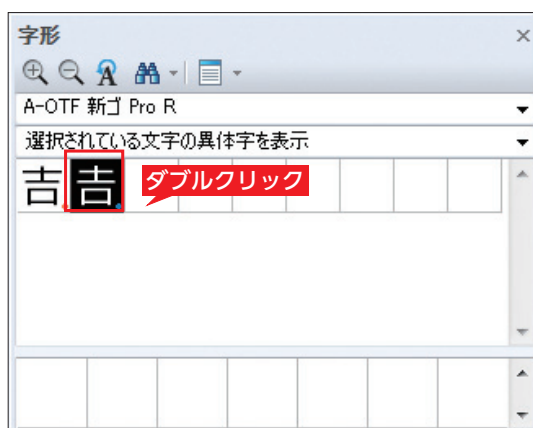
- 3 下図のように【字形】パレットの書体を『吉』の字と同じ設定にし、リストから【選択されている文字の異体字を表示】を選択します。



書体 A-OTF 新ゴ Pro R



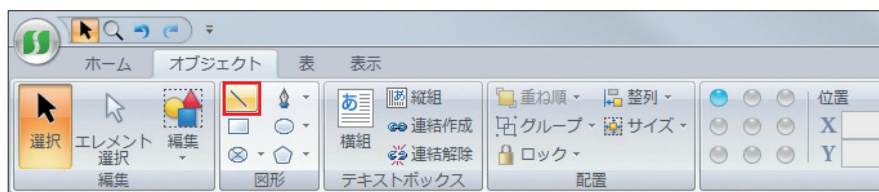
- 4 【字形】パレットに表示された『吉』の字をダブルクリックすると、文章内に『吉』が入力されます。



7 線組を作成する

線組機能でパスの上にテキストを入力する

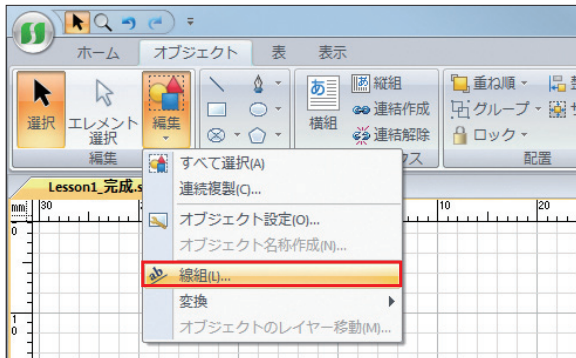
- 1 【オブジェクト】タブ→【図形】の をクリックします。



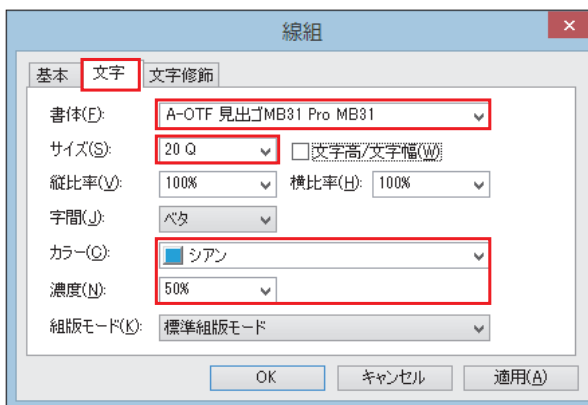
- 2 画面上をドラッグし、直線を引きます。



- 3 直線が選択された状態で、【オブジェクト】タブ→【編集】→【編集】をクリックし、リストから【線組】を選択します。

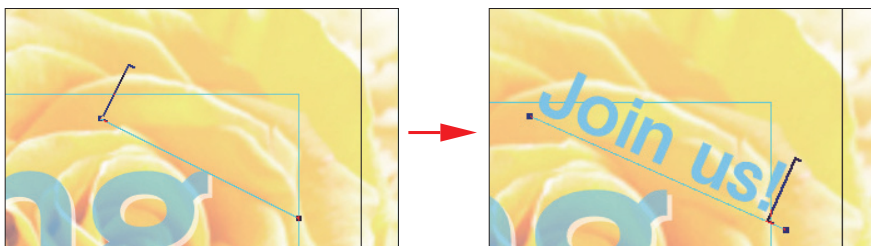



- 4 【線組】ダイアログの【文字】タブを下図のように設定し【OK】をクリックします。



書体 A-OTF 見出ゴMB31 Pro MB31
 サイズ 20Q
 カラー シアン
 濃度 50%


- 5 カーソルが点滅している状態で、キーボードから『Join us!』と入力します。

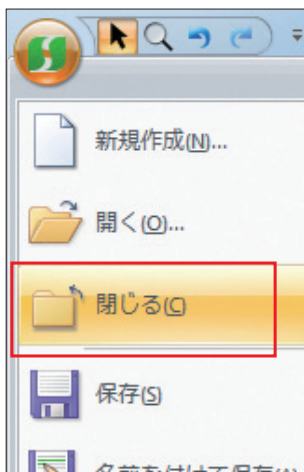


- 6 必要に応じて【オブジェクトの選択】ツール  でパスの長さや位置、角度などを調節します。タイトルのテキストと同様に【線組】の文字へ【透明効果】を適用します。



8 ドキュメントファイルを閉じる

- 1 ドキュメントファイルを保存した後閉じるには、 をクリックし、【閉じる】をクリックします。



以上で端物は完成です。

MC-Smart チュートリアルガイド

2016年5月10日 第5版

発 行 株式会社 モリサワ

本 社 大阪市浪速区敷津東2-6-25 〒556-0012
TEL (06)6649-2151

東 京 本 社 東京都新宿区下宮比町2-27 〒162-0822
TEL(03)3267-1231

本製品に関する情報は <http://www.morisawa.co.jp/>
